

岩ネット

岩ネット報告 飯能労山 結城 記

9月28日、秋晴れの絶好のクライミング日和。今回の岩ネットには男性7名、女性2名の計9名が日和田山に集まりました。日和田山は曼珠沙華で有名な高麗巾着田の近く、下界は見頃を迎えた曼珠沙華を見に多くの人で賑わっていることでしょう。一方、日和田山では夏山疲れか、または行楽シーズンのためか、思ったより人は少なく(他には3組+α程度)、今日は思う存分、岩登りができそうです。

9時に集合後、水谷リーダーから短い訓示・・・「何かテーマを持って1日登ろう」・・・私の今日のテーマは「体重移動」。まずは南面から2手に分かれて練習を開始いたしました。初心者からベテランまでそれぞれのレベルで数をこなしていきます。何を隠そう、私もクライミングを始めて3か月の初心者、ベテランのみなさんのアドバイスを吸収しながら必死で登っていききました。

今回参加の女性2人は初ビレーに挑戦。本番前にザイルを手繰る練習を一生懸命やっていますが、そのタドタドしい手つきを見ていると不安が頭を過ります。その女性の初めての男は私。「登ります。」の掛け声をかけ、彼女のビレーで頂上を目指しました。もちろん、彼女の横には熟練者がサポートしていますので、登り始めればまったく不安もなく、無事、地上へ戻ってきました。午後からは西面で技のトレーニングです。少し難度の高い斜面を全員が下で見守る中、各人の挑戦が始まりました。スイスイと核心部分を通過し、その壁を攻略するとみんなからの「おおー」という賞賛の嵐。いったん詰まると、「右手は上の突起」、「左足はそこのクラックに」など温かいアドバイスが至る所から飛びます。しかしながら船頭多くして良いことはなく、最後には右も左もわからなくなり、落下・・・となる人も少なくありません。一番熱心にアドバイス(ヤジ)を飛ばしていた人の番になると岩場は最高潮になりました。そのヤジ将軍はヤジの元気そのままでバルジ(日和田山のラインの一つ)をグイグイ登っていきます。ただ、本人のアドバイスと少し違うルートで。降りてきた本人曰く「登れば勝ちだ!!」現在、バルジ攻略中の私の場合、今日の課題の体重移動に注意しながら、2回チャレンジ。いい感触を掴みながらも、午前中の力づくのクライミングがたり、腕がパンパン。バルジ攻略は次回の楽しみとなりました。

まだ、紅葉には少し早い時期でしたが、恵まれた天候の中で、安全第一の緊張感を持ちながら、ワイワイガヤガヤ楽しく、あっという間の一日でした。

日本勤労者山岳連盟 2014年カレンダー申込み受付中加盟所属会にお申し込み下さい。

2014年カレンダー写真